

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-4 都市・農山漁村空間の保全・整備
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	都市計画課長 石田 弘至	電話番号	0852-22-5209
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	都市公園の管理運営		
目的	(1) 対象	県立都市公園利用者	
	(2) 意図	都市公園の機能を維持し、安全で快適な利用を確保する。	
事業概要	県立都市公園（浜山公園、石見海浜公園、万葉公園）の適切な維持・修繕・管理運営を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			公園利用者数	目標値		130.00	130.00	130.00	
			実績値	127.50	131.90	133.70	138.40		
			達成率		101.50	102.80	106.50		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	349,782	346,228
うち一般財源 (千円)	337,997	335,173

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度は達成率が約106.5%と目標を達成した。夏季の天候不良等の影響により石見海浜公園と万葉公園では前年度に比べ4.4%減少したが、浜山公園では前年度に比べて21.5%増加した。  
これからも公園利用者のニーズに対応したサービス（スポーツ・余暇活動拠点、都市防災拠点、地域振興拠点等）を提供するために、施設の適切な整備や維持管理を推進し、安全で安全な施設利用に貢献することで、公園利用者数の増加に努める。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 平成26年度は、夏季の天候不良が著しく、海水浴客の減（石見海浜）やキャンプ施設の利用者減（石見海浜・万葉）が目立ったが、指定管理者の努力、浜山での全国規模のイベントにより公園の利用者増につながった。
- 指定管理者の啓発を図り、サービスの向上等に資することを目的として優良な指定管理者を表彰する制度を設けた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

施設の維持管理費が増加傾向にある。

②困っている状況が発生している「原因」

施設の老朽化や設備の陳腐化

③原因を解消するための「課題」

公園利用者のニーズを踏まえた施設・設備の整備

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 公園利用者のニーズを踏まえた施設・設備の整備には「予算」が伴うため、引き続き当局に働きかける。
- 平成22年度より指定管理者評価制度を導入し、外部委員による評価を受けている。その結果を、今後の公園管理に反映し、適正な管理水準の維持と県民サービスの向上を図る。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）